

2017年 大発会

1月4日、2017年のスタートを切る大発会を行いました。

福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、市場関係者約60名の皆様にご出席をいただきました。奥井理事長が年頭の挨拶を行い、引き続き理事長の音頭により、証券市場が益々活況を呈しますよう祈念して、吉例の「博多手一本」を入れました。



最後に、河谷理事（西日本シティ T T 証券株式会社 代表取締役社長）の音頭により威勢よく、乾杯を行いました。



理事長挨拶 (2017年大発会)

理事長の奥井でございます。新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本日、平成29年福岡証券取引所大発会が、この様にたくさんの市場関係者の皆様にお集まり頂き、盛会裡に開催されており、誠に有難うございます。本年も福証のお引立ての程よろしく申し上げます。年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

新年といえば「干支」の話になりますが、今年の干支は「丁酉」（ひのととり）です。この「丁」という字は、植物が成長してきて、安定した状態に達したことを意味しており、又、「酉」という字は、果実が成熟の限界に達した状態とされ、このことから今年は植物がしっかり育ちきって果実がたわわに実っている景色を連想されます。更に、「酉」は「取り込む」で商売繁盛に繋がるとされ、縁起の良い干支とされています。皆様ご承知の通り、相場格言では「申（さる）・酉（とり）騒ぐ」と云われています。今年が、我々証券界にとりまして大いに盛り上がり、上値で騒ぐ賑やかな1年になってほしいと思っています。

前回の「丁酉」は、60年前の昭和32年になりますが、この年は、日本初のロケット発射実験に成功やソ連が世界初の人工衛星の打ち上げに成功する等、それまでの科学的研究の成果が数多く結実した年といえることから、今年も今までコツコツと育ててきた事が大きな成果となって実を結ぶ年となってほしいと思います。

処で、昨年を顧みますと、これまでの常識が通用しない事柄が続きました。数々の自然災害、中国経済の減速、日銀初のマイナス金利導入、イギリスのEU離脱、アメリカ大統領選挙等々で、多くの「まさか」「想定外」があった1年でした。世界の潮流として、内向志向が広がりつつあり、大きな転換期にさしかかっています。

さて、今年については、1月20日に就任するトランプ米国大統領の言動やフランス、ドイツなど主要国での相次ぐ選挙の結果やイギリスのEU離脱手続きも予定されており、世界の政治・経済に不透明感があり、気懸りな面もありますが、とにかく世界はトランプ政権の方向性に影響を受ける事になりますが、米国と各国が協調して世界経済がより良い方向に進んでいくことを期待していま

す。

一方、我が国経済は、海外情勢の不確実性に対するリスクが懸念される中、基調として緩やかに拡大しており、持続的な成長路線への道を進みつつあります。株式市場も昨年12月には年初来の高値を更新するまでに回復しており、個人の投資マインドも次第に明るくなっており、今年も大いに期待しています。

又、安倍首相の任期が今年延長され、安倍政権の政策実行力が一段と高まりそうですので、「一億総活躍社会の実現と成長戦略」の着実な実施により、一層の景気拡大を広く国民各層が実感できるものにして欲しいし、特に、地方に景気の好循環を浸透させ、地方の元気を取り戻したいものです。

今、官民あげて地方創生への取組みがなされている処ですが、今後、我が国における加速度的に進むと予測される人口減少は、経済社会にとって大きな重荷であり、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げる必要があります。また、少子高齢化の進展等を踏まえると、個人の資産形成の重要性はますます高まっております。福証としましても、地域経済の活性化や個人の安定的な資産形成の促進に向け、「域内企業の新規上場の促進」と「福証市場での株式売買の活性化」等を通じて、少しでも貢献できるよう全力で取り組んで参ります。

終わりになりますが、私ども福証は「地域になくてはならない取引所」として、これからも地域から信頼され、地域の皆様の使い勝手のよい取引所を目指し、役職員一丸となって取り組んで参ります。今年もどうか福証に皆様の力強いご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願いします。